



学校教育目標

《 明るく・かしこく・仲よく 》

夢・笑顔・感謝いっぱい



令和 8 年 7 月 17 日 No.5

狭山市立新狭山小学校

〒350-1305

狭山市入間川 1108

Tel 04-2958-4080

校長 石井 格

新狭山小だより



自分の中にある「こけ」を落とす

いよいよ梅雨が明け、暑い夏がやって来ました。早いもので、本日 1 学期の終業式を迎えました。毎日の学校生活を通して、子供たちはたくさんのことを学び、成長することができました。これも保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しております。2 学期以降もお世話になります。どうぞよろしくお願いします。

本日、担任より 1 学期の通知表を子供たちに手渡しました。まずは、**子供たちのがんばりをたくさんほめて**いただきたいと思います。その上で、学習や生活の課題を認識して、**2 学期に向けての目標づくりに役立てて**ほしいと思います。

さて、 の写真をご覧ください。これまで駐車場の壁面が、「こけ」で黒ずんでいました。先日、ベルマークで購入していただいた高压洗浄機を使い、その一部のこけを落としました。(の写真) 長い年月をかけて、はびこったこけを落とすのは、容易ではありませんでした。時には、こけが顔や体に飛び散ることもありましたが、作業終了後の爽快感は、最高のものでした。



①



②

私たち自身の中に、こけ(よくない習慣や凝り固まった考え方など)は生えていないでしょうか? 自分の中のこけを落とすのは、実際のこけを落とすより困難なものだと思います。しかし、その自分の中にあるこけが落ちてきれいになった時に、今よりもさらに幸せな気持ちを感じながら生活することができると考えます。

夏休みを迎える度に、思い出す一つの経験があります。それは、私が高校 1 年生の夏休みのことです。私は、サッカー部に所属しており、夏休みにたくさん練習がありました。(これは言い訳ですね...) その年、たくさん宿題が出ていたのですが、計画的に進められず、夏休みの最終日になっても、まだ宿題は終わっていませんでした。その日、夜遅くまで勉強して何とか宿題を終わらせました。

2 学期初日の放課後、部活の練習がありました。練習中にバランスを崩して転んだときに、私は手を骨折してしまいました。その後、完治するのに約 2 ヶ月かかりました。骨折したことにより、しばらく運動はできなくなりましたが、これまでの自分自身を振り返るよい機会となりました。それまで、自由に体を動かせることを当たり前のようには思っていたのですが、健康のありがたみが分かりました。また、家族や友達、先生に助けてもらうことにより、周りの人の思いやりや助けに気づき、感謝の気持ちが自然とわき上がってきました。さらに、やるべきことを少しずつ進めることの大切さを学びました。私の中にあるこけは、まだまだありますが、これからも自分自身を磨く努力を続けていきたいと思っています。

子供たちには、ぜひ、夏休みの宿題を計画的に進めてもらいたいと思います。そして、生活リズムに気をつけて、よい生活習慣を継続してほしいと思います。夏休みが子供たち一人一人にとって、楽しく充実したものとなりますように、願っています。

【9月当初の予定】 1日(火) B週 始業式 3時間日課 一斉下校(11:20頃下校) 2日(水) 給食開始 スクールカウンセラー来校日 4時間日課(13:20頃下校) 3日(木) 避難訓練 4時間日課(13:20頃下校) 4日(金) 委員会 通常日課	7日(月) A週 スキルアップタイム 8日(火) 学年朝会 9日(水) なかよしタイム PTA 運営委員会 家庭教育学級 11日(金) クラブ 
---	---

新狭山小学校 「教室からの便り」vol1

新狭山小学校では「算数の楽しさやよさに気づき、自分の考えを進んで表現できる子」の育成を目指しています。「教室からの便り」では日々の授業の様子をお知らせします。

今回は4年生「小数の引き算」の学習です。小数の引き算が日常生活で実際に使われている場面を体験することで、小数を使って表現することの楽しさを味わうことができます。4年1組では次のような問題でチャレンジしました。

問題「陸上100m走の世界記録はウサイン・ボルト選手の9.58秒です。4年1組の体力テスト50m走の平均は9.94秒です。どちらがどれだけ速いでしょうか」

子供たちは実際にボルトが世界記録を出したときの動画を見て自分たちのタイムと比べます。

二つの違いがどれだけあるかということを経験し、その計算方法を考えます。ボルトが100mを走るスピードを実際に目にした後、子供たちはこの問題に出会いました。子供たちからは「もしボルトが50mを走ったら(自分たちと比べて)どれくらい速いの?」「僕たちが50m走っても100m走ったボルトに抜かされる」などのつぶやきが聞こえてきました。

今回の学習では「小数の引き算は小数点の位置をそろえて筆算をする」ことが課題となります。日常生活で小数点をそろえて計算する場面は決して多くはありません。しかし、実際に小数を扱う場面を題材にしてよりリアルな問題を学ぶことができます。子供たちは教材や題材と対話し、子供自身のなかで対話することで学びの質を高めていきます。ぜひご家庭でも日常生活で算数の学習に触れてみてはいかがでしょうか。



【夏休みの緊急連絡先について】

下記の期間は、市役所が緊急の連絡先となります。ご承知おきください。

期間 8月12日(水)～14日(金) 休日(土日、祝日)

連絡先 狭山市役所 04-2953-1111(教育指導課内線 5653) 時間外は警備室につながります。